

世界のデング熱流行状況(更新 4)

2012 年 2 月 21 日 ProMED 情報

(1)ブラジル

全国(2 月 14 日)では、保健省によると 1 月 1 日～2 月 11 日の患者数は 62%で 40,486 名でした。昨年は 106,373 名でした。

全国(州)(2 月 15 日)は、全体の 75%はリオデジャネイロ州(4,275 名)、ミナスジェライス Minas Gerais 州(3,531 名)、ペルナンブコ Pernambuco 州(3,495 名)、トカンティンス Tocantins 州(3,450 名)、パラ Para 州(3,304 名)、バイア Bahia 州(2,743 名)、ゴイアス Goias 州(2,690 名)、サンパウロ州(2,590 名)、セアラ Ceara 州(2,322 名)、エスピリト・サント Espirito Santo 州(1,982 名)に集中しました。最も危険な地域はバイア州の 22 の自治体です。

アラゴアス Alagoas 州(2 月 15 日)では、2 月 10 日現在、保健当局によると 102 の自治体のうち 60 の自治体で疑い患者 867 名が報告されました。昨年の同期より 19%の増加です。

リオデジャネイロ州リオデジャネイロ(2 月 17 日)では、保健大臣が今年はこれまでに最大のデング熱流行の 1 つになると述べています。今年の初めから患者 3,499 名で、昨年同期は患者 2,322 名でした。しかし死亡患者は発生していません。

マトグロッソ州シノップ Sinop(2 月 19 日)では、今年初めてデング出血熱患者 1 名が報告されました。保健当局は、1 月 1 日～2 月中旬までに患者 326 名が報告され、シノップはネットアイシマカがないことからデング熱流行の危険性のある 91 都市の一つです。

マトグロッソドスル州トレスラゴアス Tres Lagoas(2 月 15 日)では、1 カ月と 14 日間で患者 746 名が報告されました。そのうち 170 名は確定診断されましたが、62 名は陰性でした。先週までに確定診断された患者数 138 名より増加しています。

マトグロッソドスル州(2 月 16 日)では、保健当局によると、カンポ・グランデ Campo Grande の居住者がデング熱ウイルス 4 型感染の最初の疑い患者で報告されたため警戒を発令しました。今年の最初の 6 週間で、患者 1,760 名が報告されましたが、昨年より減少しています。

アクレ州リオブランコ Rio Branco(2 月 15 日)では、報告患者数は 90%の減少です。2 月 9～15 日現在で患者 1,302 名が報告されました。昨年同期は患者 13,322 名が報告されました。

セアラ州(2 月 15 日)では、患者 2,322 名が発生しています。2 月 10 日現在、ジュアゼイロ・ド・ノルテ Juazeiro da Norte では患者 267 名、フォルタレザ Fortaleza では患者 260 名が発生しています。

バイア州イタブナ Itabuna(2 月 15 日)では、患者 100 名以上が報告されています。昨年同期は 60 名以下でした。

トカンティンス Tocantins 州パルマス Palmas(2 月 14 日)では 人口 100,000 名あたり患者 743.7 名で最も高い発生率です。人口 100,000 名あたり患者 300 名以上で流行とされています。トカンティンス州は最大の発生率で人口 100,000 名あたり 249.4 名です。国全体は人口 100,000 名あたり 21.2 名です。